

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

平成22年の新春を迎えるにあたり、中小企業組合関係の皆様にご挨拶申し上げます。

また、平素は、本会の運営に際しまして格別なご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年の経済情勢を顧みますと、景気後退の影響を受けて、大企業製造業を中心とした生産縮小により、中小企業の受注は激減しました。雇用情勢も悪化し、失業率は過去最高を更新し、個人消費も大きく落ち込みました。

このような経済環境の中ですが、本会といたしましては、6月には本会青年部会員が主体となって、全国中小企業青年中央会の通常総会を高松で開催しました。また、製造業を対象に試作開発等を補助する「ものづくり製品開発等支援事業」を実施しました。さらに、人材育成事業として、農商工連携を推進するため「農商工人材育成事業」を実施し、製造業においては「ものづくり分野人材育成・確保事業」を実施しました。

中小企業は、雇用の受け皿として機能しており、地域経済の屋台骨を支える存在です。地域経済の活性化の観点からも中小企業の果たす役割が大いに期待されています。中小企業が地域経済

の発展に貢献し、更なる事業の発展を遂げるためには、個々の事業者による経営革新のほか地域資源の活用、農商工連携等の中小企業の連携やネットワークを強化していくことが肝要であります。また、事業協同組合をはじめとする中小企業連携組織のもと、優れた技術を持つ中小企業が集まり、新商品の開発、新しいサービスの提供、新しい事業分野への進出を積極的に推進していくことが必要であります。

本年度においても、中小企業団体の唯一の専門支援機関として、組合等の連携強化や経営革新、組織化による創業、中小企業組合の新分野進出の支援を実施します。情報化社会に対応するIT技術の推進など国・県の中小企業施策に沿った各種事業に取り組んでまいります。

新年を迎え、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様が、決意を新たに、組合等組織の多様な連携のもと、地域経済の発展と中小企業の振興のために邁進されますことをご期待申し上げますと共に、本年が皆様方にとって前途明るい年でありますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

生活先進圏「四国」を目指して



四国経済産業局長
徳増 有治

平成22年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

先の金融・経済危機は、経済や雇用に深刻な影響を及ぼし、特に中小・小規模企業は厳しい経営状況に直面しているなど、今なお予断を許さない状況にあります。

この未曾有の危機に対処するため、昨年12月、政府は「緊急経済対策」として、10兆円規模の資金繰り対策を決定しました。四国経済産業局といたしましても、四国財務局や関係機関と連携し、民間金融機関等のご協力も頂きながら、中小・小規模事業者が円滑に利用できるよう取り組んで参ります。

こうした当面の経済対策に加えて、世界経済が大きな転換期を迎えている今日、我が国経済を支えている中小企業や地域社会が活力を持ち、来るべき新たな時代、社会に対応した製品やサービス、社会的価値やシステムの創造にチャレンジしてい

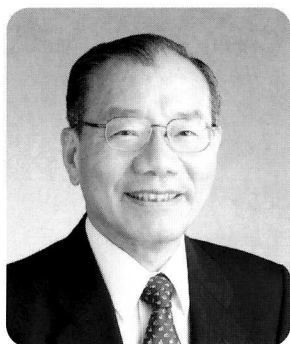
くことが極めて重要です。

このため、四国経済産業局では四国の誇る一次産品や個性的な産業資源等の一層の連携・活用を図るべく、「農商工連携」「産業クラスター」、等の施策を進めているところですが、四国には、豊かな自然はもとより、古くからの文化や伝統が今なお色濃く受け継がれ、また、地域コミュニティ等の活動も残っている等、大切なものを「失っていない」という生活面での優位性があり、安心・安全な国民生活の構築、質的充実に大きな役割を果たしていくものと確信しています。

今後も、四国が「生活先進圏」として、地域を挙げて社会的課題に挑戦し、地域経済の持続的発展と、生活の質的充実を通じて、全国、世界へ発信・貢献できるよう、全力で取り組んで参ります。

本年も、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎えて



香川県知事
真鍋 武紀

明けましておめでとうございます。

皆様方には、産業の振興と活力ある地域づくりをはじめ、県政の推進に格別の御理解と御協力をいただいております。深く感謝いたします。

一昨年来の世界的な景気後退に伴い、香川県内の企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いており、昨年末には、県内に本社を置く大手企業が会社更生法の適用を受けるなど、経済・雇用環境がさらに悪化することも懸念されます。

県においても、県税収入の回復が見込めないことなどから、極めて厳しい財政運営を余儀なくされており、新年度は、財政再建を進めつつ、香川の将来にわたる持続的な発展を図るため、施策の選択と集中をより一層徹底してまいります。具体的には、経済・雇用対策、地域産業の振興、観光・にぎわいづくりの推進など「地域と経済の活性化策」、自然災害対策、少子化対策など「安全・安心の確保策」に、積極果敢に取り組んでまいります。

とりわけ、地域経済を支える中小企業の活性化を図るため、「かがわ中小企業応援ファンド」を活用し、商品開発、販路開拓、人材育成等に取り組む企業を支援するほか、今年度新たに創設した「かがわ農商工連携ファンド」を活用して、県産農水産物を生かした新商品開発や販売促進の支援に努めてまいります。

さらに、県内に本社を置く大手企業が会社更生手続き開始を申し立てたことに伴い事業活動に支障が生じている県内中小企業者に対し、事業資金の円滑な供給を図るため、昨年十二月に、県独

自の対策として「連鎖倒産防止緊急特別融資制度」を創設したところであり、引き続き、県内中小企業者の経営の維持・安定に努めてまいります。

そして今年度は、香川らしさや地域の強みを生かしたイベントの開催などを通じて、地域の活性化と広域交流の促進を図ってまいりたいと考えています。

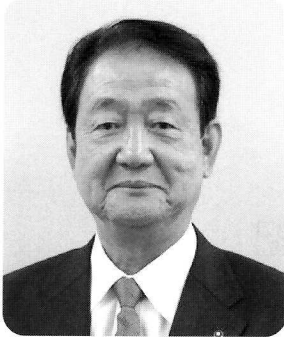
三月には、第二回高松国際ピアノコンクールが開催されます。全国で三番目に誕生したこの国際ピアノコンクールの開催を通じて、さらなる音楽文化の振興や国際的な文化交流が促進されることが期待されており、今後の発展に向けて、積極的に応援してまいります。

また、海の日（七月十九日）から十月三十一日を会期として、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」を開催いたします。瀬戸内海の美しい七つの島々と高松港周辺を舞台に、島固有の自然や文化を生かしつつ、現代アートの作家たちと、そこに暮らす人々との協働で創られるイベントであり、国内外に向けて瀬戸内海の魅力を発信してまいります。

今後とも、県民の皆様が、豊かな心で、元気に、安心して暮らしていける「活力に満ち住みよい香川」の実現に向けて、全力を注いでまいりますので、一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

新しい年を迎え、香川県中小企業団体中央会のみすますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

年頭挨拶



全国中小企業団体中央会
会長 鶴田 欣也

新年明けましておめでとうございます。

平成22年を迎えるにあたり、全国の中小企業の皆様並びに組合をはじめとする中小企業連携組織関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年6月に佐伯前会長からバトンを引き継ぎ、会長として初めて迎える新年であります。

昨年は、政権の交代という大きな変化がありました。中央会関係についても、組合法施行60周年・団体法施行50周年記念式典が開催されるなど節目の年でした。景況は、過去最大規模の経済対策等により、最悪期を脱し、持ち直しつつあると言われていましたが、経済効果の息切れとともに、二番底に陥る懸念が広がりました。中小企業は、大幅な需要不足に基づく競争激化により、低価格受注や販売単価の下落に苦しみ、デフレリスクが強まり、雇用問題が一層深刻化し、先行きが見通せない経済社会情勢の中で、新年を迎えることとなりました。

本年こそは、自律的な景気回復軌道に乗る年としたいものでありますが、円高、設備投資の抑制、消費者心理の冷え込み、公共投資の削減など景気への懸念材料が多く、先行きは極めて厳しい状況にあります。

このような情勢下において、中小企業がわが国経済の活力の源泉として、その役割を果たしていくためには、成長するアジア諸国との連携による外需拡大、低炭素社会や健康長寿社会の実現に

向けた成長産業への積極的な内需振興等を図り、自らがグローバル化、環境・エネルギー技術の高度化、健康・医療・介護サービスの高付加価値化に積極的に取り組むことが必要であります。

一方において、経営環境の厳しさが続く中では、経営資源に制約のある中小企業は、個々では解決し難い課題も多く、中小企業組合をはじめとするネットワーク組織を活用し、経営資源を相互補強することにより、新事業を展開していくことが重要であります。

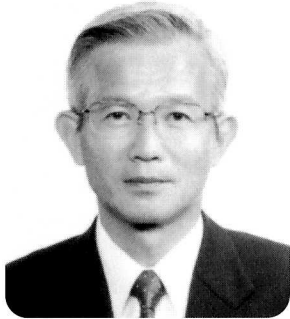
本年は、予算編成、税制改正、経済成長戦略の策定や地域主権・地方分権の推進など、景気を含めて中小企業をとりまく環境は、激しく変化することが予想されます。

このような中において、ブロック会長会への出席、トップセミナーの開催などを通じて、都道府県中央会の会長との対話の場をつくり、「開かれた中央会」を実現し、中央会及び組合等連携組織の発展に全力をあげて参る所存であります。

中小企業並びに中小企業連携組織関係の皆様におかれましては、極めて厳しい情勢下にはありますが、新たな年を迎え、決意を新たに中小企業の振興・発展のために力強く邁進されますことをご期待申し上げますとともに、本年が皆様にとってよい年となりますようご祈念申し上げます、私の年頭のご挨拶と致します。

平成22年 元旦

年頭所感



株式会社商工組合中央金庫高松支店
支店長 久家 幸一郎

新年明けましておめでとうございます。

平成22年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、平成21年は、金融危機により世界経済が急速に悪化する中で幕を開けました。その後、各国で財政・金融面での対策が実施されるにつれ、わが国の景気も底打ちし、緩やかな持ち直しに転じました。しかしながら一方では、雇用環境悪化による個人消費の低迷等からデフレ懸念が強まりつつあるなど、先行きについては楽観できない状況が続いております。

中小企業の景況を当金庫の「中小企業月次景況観測」でみると、昨年1月の景況判断指数(24.8)は過去の景気後退局面における最低値(36.7)であった平成10年(1998年)6月を大きく下回りました。その後景況の悪化度合いはやや弱まりつつありますが、景況判断指数の水準は依然として低く、売上高は前年対比で大幅な減少が続いております。

このような環境下、昨年5月には当金庫の危機対応業務の事業規模が3兆円追加され、4.2兆円へと大幅に拡充されるとともに、6月には、必要な財務基盤の確保を目的とした危機対応準備金の創設、政府保有株式を全て処分する期限の延期等を内容とする商工中金法の改正が行われ、これを

受けて7月には危機対応準備金として1,500億円の資本増強が行われました。

当金庫としましては、求められる役割の大きさを十分認識し、国や中小企業の皆さまの熱い期待にしっかりと応えるべく、セーフティネット機能の発揮を最優先事項とし、法定された指定金融機関として危機対応業務を中心にその機能の発揮に全力をあげて取り組んでまいりました。

今年も厳しい経済・金融環境が続くことが予想されますが、当金庫としましては、引き続き皆さまからの相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともにこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝を心よりお祈りいたしましてご挨拶いたします。

本年もよろしくお願ひ申し上げます



香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県信用組合	理 事	大坪 廣巳	香川県電気工事業工業組合
副 会 長	鹿庭 幸男	香川県商店街振興組合連合会	//	増田 稔	瀬戸内食品加工協同組合
//	木内 久	庵治石開発協同組合	//	山本 詳二	高松市造園事業協同組合
//	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	//	金井 淳三	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合
//	細溪 英一	協同組合日専連高松	//	岡本 景光	小豆島調理食品工業協同組合
専務理事	谷野 克明	専 従	//	久保山 勝	香川県美容業生活衛生同業組合
常任理事	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	//	北村 安朗	建設協同組合高松総合センター
//	星合 洋一	香川県自動車整備商工組合	//	塩 日出男	香川県屋外広告美術協同組合
//	小竹 義孝	香川県建築事業協同組合	//	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合
//	榊 久雪	香川県火災共済協同組合	//	榊原 賢治	香川県家具商工業協同組合
//	小松 義彦	香川県印刷工業組合	//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合
//	砂川 匡	日本手袋工業組合	//	鎌田 郁雄	香川県醤油工業協同組合
//	藤井 孝行	四国冷食協同組合	//	石原 和夫	香川県不動産事業協同組合
//	佐々木 勝	香川県食糧事業協同組合	//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合
//	川井 信夫	香川県砕石事業協同組合	//	藤澤 孝行	協同組合三木工業クラブ
//	松田 等	香川県漆器工業協同組合	//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会
理 事	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	//	三木 義忠	小豆島手延素麺協同組合
//	田中 光男	香川県中古自動車販売商工組合	//	楠木 寿嗣	社団法人香川県トラック協会
//	大藪 茂幸	川重坂出事業協同組合	//	石井 信之	中央会青年部会長
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	監 事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合
//	堯天 啓行	香川県製粉製麺協同組合	//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
//	大峯 茂樹	さぬきうどん協同組合	//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合			

秘湯の旅 in CANADA

みなさま、明けましておめでとうございます。当方の担当も7年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

昨年引き続き、地域力連携拠点事業の「応援コーディネーター」として、多くの経営者の方々へアドバイスをさせていただきました。また、さらに農商工連携等人材育成事業の「専門家」として、研修カリキュラムの立案等を担当しました。まさに昨年は連携事業漬けの1年だったわけです。これら一連の事業については、来年度は事業仕分けの対象となっているものもあり、その存続については予断を許さないのですが、地域の活性化に、より寄与できる内容に再構築して存続できることを切に望む次第です。

さて、今回の話題ですが、平成5年に体験した秘湯の旅のことです。その夏には、カナダのバンクーバーから2時間ほど内陸に入ったウイスラーに仕事で行っていたのでした。ここは有名なスキーリゾート地なのですが、ご存じの通り、最近では今年の冬季オリンピックのスキー競技などの舞台ということで世間の耳目を集めており、当方もつい懐かしく思い出したという次第です。

そこで、(身分不相応にも)高級リゾートホテルに投宿している際に、巻頭言の執筆陣の一人である井原教授が面白い情報を聞きつけてきました。「正岡くん、ボーイさんがね、すぐそこに温泉があるということだよ、地図を書いたからちょっと行って見ないか、仕事も一段落したことだし。もちろん、キミがクルマを運転するんだよ。」そこで、「へいへい、わかりましたー」ということで、レンタカーを借りに行ったのでした。

一番安いセダントypeを借りようと申し出たら、レンタカー屋のオバちゃんは「あんたら、どこ行くの? ミーガー・クリーク (Meager Creek)? ああ、そこに行きたいなら、こっちのクルマでないとダメだね、こっちにしな」ということで、勧められたのがGMのオフロード4駆、そのレンタル料はけっこう高かったのですが、素直にアドバイスを受け入れることにしました。そこで、昼食を済ませた後、非常食糧用にピザを買い込み、目的地のミーガー・クリークに向けて出発です。

さて、ボーイさんに書いてもらった手書きのおおざっぱな地図では、最初の町ペンバートン (Pemberton) まで主要道路は国道99号線1本で、その後、道が二股に分かれます。そのうちの左の道路をしばらく進んだら、枝道があるので、そちらに入って川を渡り、その後しばらく川に沿って直進、すると到着するということです。距離や所要時間は不明で、ボーイさんは、「すぐそこだよ、気を付けて行っといで!」と明るく言ったそうです...

国道99号線では、だいたい80km/hぐらいで走りました。これでも遅い方で、制限速度は90km/hだったように思います。北海道の町と町の間を走っているようなもので、快適なドライブでありました。しかし、ペンバートンまで、このスピードで30分以上かかりました。すでに約50km程度走ったことになるのですが、「本当にすぐそこなのか?」という思いがそろそろ生じてきたのでした。

二股道を左に進みました。町を出ると、左右は森林や牧草が延々と続きます。そして、進行方向右側をかなり気を付けて見ていたのですが、枝道と思われるような道は全然見つかりません。1時間も走ったら山中に入ってしまい、道は一段と細く、標高を上げながらうねうねカーブするようになり、まことに心細くなってきました。この時点までとくに指示など出さなかった井原教授に、「引き返してえーすか?」と聞くと、「...、えーよ...」との指示で、ここで引き返すことにしました。

何十km走っても道の付近にはヒトがいないので、聞く相手を探すのも困りました。ようやく農作業などしているヒトを見つけて、「ちょっとイデスカ〜」と話しかけると、その方は、「ああ、その道なら、すぐそこだよ」とおっしゃるのです。田舎のすぐそこはほとんどアテにならないのだかと思いつつ、さらに引き返すと約10分後、小さな案内看板があり、「ようやく見つけた!」と2人で大いに喜んだものでした。

リリオット川 (Lillooet River) を渡ると、道はダートになりました。なるほど、このガタガタ道では4駆も大いに意味があります。そして30分以上も飛ばした後、ようやく目的地に到達したのでした。走行距離は、間違えずに行っていたとしても150kmぐらいあります。一体何が「すぐそこ」なのでしょうと、カナダの人々の距離感が我々と相当異なることを実感しました。例えば、高松から松山までの距離は約160kmなのですが、「すぐそこ」とは決して思いませんよね...

辿り着いた温泉はまさに秘湯、露天に檜風呂のような深いプールがあるだけで、周囲を取り巻く森林にはヒトがまったく住んでいません。そこで我々は水着着用で韓国人GALたちと混浴を楽しんだ後、まだまだ日が高い中、150kmの道のりを取って返したのでした。

このミーガー・クリークは、当時のカナダとしては、クルマで行ける数少ない野趣溢れる温泉であったことを、この稿を書くために検索して初めて知りました。その後、マイク佐藤さんという方が奔走して、日本風の露天風呂がいくつかできているそうですが、してみると、貴重な情報をくれたボーイさんは熱烈な秘湯マニアだったのかもしれないね。



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

中央会だより 1

中小企業経営塾を開催



▲講師の佐竹隆幸教授

11月26日、本会は、高松国際ホテル（高松市）において中小企業経営塾を開催しました。県下の中小企業経営者並びに後継者65名が出席しました。

今回の経営塾では、「地域中小企業の経営革新」をテーマに、兵庫県立大学経営学部教授の佐竹隆幸氏を講師にお招きしました。

講師の佐竹氏は、「昨年の9月にリーマンショックが起こる前の大企業の生産量を100とすると、今は70ぐらいに落ち込んでいる。100作っても70しか売れず、在庫が溜まり、生産調整をした結果、4月頃には在庫が減り、適正な数量になった。しかし、生産は70のままにとどまっているので、企業数も生産量に応じて減少していなければならない」と経営環境の変化を分析。

対応策として、「個々の企業が不況に立ち向かうためには、経営革新を行う必要がある。経営革新には新規性が求められるが、自社にとって新しい取り組みであればいいので、中小企業でも認定を受けることができる。新事業促進活動法の制度にのると、自社の信用力創造につながる。社会的責任を果たし、顧客、社員、経営者の満足度が高い企業ほど、環境変化に対応できて、業績が伸びていく」とアドバイスしました。



▲中小企業経営塾の様子

中央会だより 2

外国人研修・技能実習制度円滑化対策事業セミナーを開催

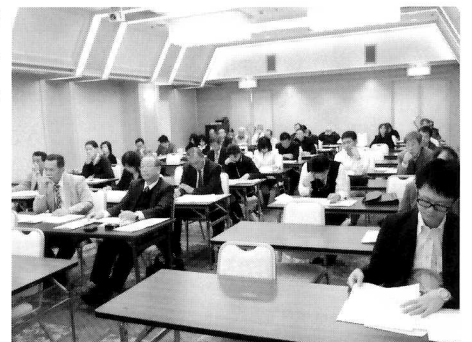


▲講師の小林労働政策部部長

本会は、11月30日、ホテルパールガーデン（高松市）においてセミナーを開催しました。このセミナーは、外国人研修生を受け入れている組合を対象に、外国人研修・技能実習生受入事業の適正な運営を図ると同時に、新制度への円滑な移行を図ることを目的に開催されたもので、当日は組合関係者ら66名が出席しました。

講師として、全国中小企業団体中央会の労働政策部部長小林信氏をお迎えし、「外国人研修・技能実習制度の適正な運営について」をテーマにご講話いただきました。

小林講師は、「改正入管法の成立により、1年目から技能実習で在留することになった。最長3年間の受入れ期間の全てで、組合の管理責任が問われる。組合では、定款を変更し、職業紹介事業を追加する必要がある。複雑な手続きになるので、中央会と相談の上、改正に対応していただきたい」と制度の変更点並びに組合の対応について分かりやすく解説していただきました。



▲セミナーの様子

**3月2日、オークラホテル高松において、
職業紹介責任者講習が開催されます。**

中小企業危機克服・地域活性化香川県集会を開催



▲意見表明を行う本会国東会長

12月1日、県内商工4団体（香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商店街振興組合連合会）共催のもと、高松国際ホテル（高松市）において「中小企業危機克服・地域活性化香川県集会」を開催しました。

集会は、四国経済産業局堀口光地域経済部長、香川県田坂雅美理事、香川県議会鎌田守恭議長をはじめ、ご来賓多数出席のもと、4団体の役員の中小企業経営者らが参加して行われました。

香川県商工会議所連合会綾田修作会長より主催者を代表して挨拶を行った後、本会国東照正会長より、「景気は最悪期を脱し、持ち直しつつありますが、二番底に陥る懸念が増えています。個人消費や設備投資の大幅な需要不足により、雇用維持や資金繰り等は限界に迫っています。現状を打開するためには、財政・税制・金融における政策手段を実行する必要があります」との厳しい現状を訴える意見表明が行われました。

最後に香川県商店街振興組合連合会鹿庭幸男理事長が閉会挨拶をし、盛会のうちに終了しました。

【集会決議】

1. 早期の自律的な景気回復
2. 内外需一体となった持続的成長の実現
3. 中小企業等関係税制の拡充
4. 信頼と安心社会の構築
5. 地球温暖化問題および雇用・労働問題
6. 高松自動車道の整備促進
7. 防災対策の推進



▲集会風景

雇用の維持と求人の確保等に関する緊急要請

12月18日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用の維持と求人の確保等に関する協力要請がありました。

香川県経済は、昨年秋以降の急激な景気悪化に加え、11月には、香川県における中核的な企業が会社更生手続開始の申立てを行うなど、今後も厳しい状況が続くことが懸念されます。

雇用失業情勢は、事業縮小による人員整理や企業倒産による解雇が発生しており、また、新規卒者の就職内定率が前年に比べて大きく下回っているなど、一段と厳しさを増しています。

今回の要請は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対してなされました。

会員組合等におかれましては、「県内労働者の雇用の維持と、離職者や新規卒者の求人確保等」につきまして、改めてご理解いただき、傘下会員企業等にご周知いただきますようご協力をお願いいたします。



▲要請を受ける本会谷野専務理事

情報連絡員合同会議を開催

本会は12月9日、ホテルパールガーデンにおいて情報連絡員合同会議を開催しました。

本会では、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員（19業種、48名）を情報連絡員として委嘱し、毎月の情報連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び問題点について情報提供を行っています（本誌14・15ページ参照）。

この会議は、情報連絡員の情報交換の場として毎年1回行っているもので、この日は28名が出席しました。

本会谷野専務理事の挨拶の後、香川労働局専門監督官松尾武司氏より「改正労働基準法について」をテーマに講演を行い、法定割増賃金率の引き上げ、代替休暇制度の創設、時間単位年休制度の創設について具体的に説明していただきました。

次に、本会より情報連絡員レポートの調査結果と業界の景況を説明の後、最近の県内中小企業における景況と問題点について、各業界を代表して5名の連絡員より業界の動向についての具体的発表がありました（下記参照）。

引き続き、本会より各種事業の案内と全国大会の報告を行い、会議を終了しました。



▲香川労働局専門監督官
松尾 武司氏

平成21年度 情報連絡員の報告概要

●配達先が1,500ヶ所あり、配るところは減っていないが、1ヶ所あたりの弁当を注文する人の数が減っているため利益が出ない。（惣菜）



（和泉理事長）

●「年明けうどん」に参加する県内業者が大幅に増えた。高速道路1,000円の効果で、うどんを食べる客が増えているが、流行っている店と、そうでない店の差が激しい。（製粉製麺）



（木下理事）

●昨年、香川の手袋生誕120年を迎えた。今年、「香川のてぶくろアウトレット店」がオープン。テレビ・新聞等マスコミに大きく取り上げられ（特にNHKは全国放送）、産地香川の広報に大いに役立った。また、手袋人形教室は好評である。（手袋）



（大原専務局長）

●穴吹工務店問題の影響が我々の業界にどのように及ぶのかが分からず、不安な日々が続く。（木材）

●安くしても需要がない時代になった。（印刷）

●穴吹工務店の経営破綻により連鎖的な組合員の倒産が発生。（生コン）

●組合で販売している商品も2～3割売上が減少している。（石材加工）

●「ものづくり人材育成支援事業」は大変助かっている。この時節だからこそ、全てヒトづくりに注力していきたい。（鍍金）

●穴吹工務店（関連会社）へ納めていた生コン会社に骨材を供給していた砕石業者が債権の回収不能に陥っている状況である。公共工事が疲弊している本県において、民需（民間）関連工事の先導していた穴



（吉田専務局長）

吹工務店がこのような事態を迎え、政権交代による低迷に加えて、本県における建設業界の先行きが懸念される。（砕石）

●安全・安心な木製漆塗りの学校給食用食器の提案を目指し、本年度から先進地の輪島や福井と情報交換しながら、試作品の制作に取り組んでいる。（漆器）

●穴吹工務店の会社更生法申請による影響が懸念される。（セメント）

●依然として競争が激しく、販売価格に影響している。（石油）

●必要最低限の物しか買わない。12月でも他の月と変わらない売上げである。商店街内にコミュニケーションがとれる場所を設けており、ボランティアが運営に協力してくれている。しかし、店主のうち一人で経営している人は、店舗の運営に追われ、協力できていない。（商店街：丸亀市）



（杉尾専務理事）

●ビジネスマンの日帰り化など先行き不安である。（旅館）

●政権交代により経費縮減の象徴として公共事業が狙い打ちされており、来年度予算は14%削減され、2011年度以降についても減額していく方針が打ち出され、市場の縮小がさらに加速される非常に厳しい経済環境である。（総合建設）

●高速道路の土、日曜日1,000円の影響で、今まで県外客がタクシーを利用していたのが、マイカーが直接うどん店とか観光地に行くようになった影響で、収入が落ちている。（タクシー）

●高速道路の料金割引は、自家用乗用車の乗り入れを呼び、交通渋滞や輸送の遅延を起し、マイナス面も多く見られる。（貨物）

当日欠席の連絡員からは事前に業況報告を頂いており、上記の報告には欠席者の報告も含まれています。

平成21年度農商工連携等人材育成事業 第7回セミナーを開催



▲講師の一色総支配人

12月1日、本会は、ホテルパールガーデン（高松市）において、農商工連携等人材育成事業第7回セミナーを開催し、県下の中小企業経営者並びに漁業経営者29名が出席しました。

第7回目のセミナーには、全日空ホテルクレメント高松の総支配人一色勉氏、高松市瀬戸内漁業協同組合の代表監事西谷明氏、香川県魚市場株式会社の代表取締役山本啓一氏の3名を講師としてお迎えしました。

講師の一色氏は、「魚の良さを分かってもらうため、『香るさかなの会』を発足し、県内の大手企業の支店長が参加してくれた。瀬戸内の良さのPR活動に取り組んだが、自分達が楽しみ、その生の声を伝えていかないとお客さんに来てもらえない」と述べられました。

講師の西谷氏は、「これまでに遊漁船、海鮮市など魚の普及に取り組んだ。修学旅行で香川に来た学生に漁を体験させている。今後も旅館等と連携し、事業を続けていきたい」と抱負を語りました。

講師の山本氏は、「瀬戸内の魚を安く提供できる海鮮食堂を経営している。海鮮食堂の経験を活かして、旅館に泊まった観光客が市場に来て、買い物ができる朝食を取ることができる仕組みを考えている」と今後の事業展開について説明しました。



▲講師の西谷代表監事



▲講師の山本代表取締役

平成21年度農商工連携等人材育成事業 第8回セミナーを開催



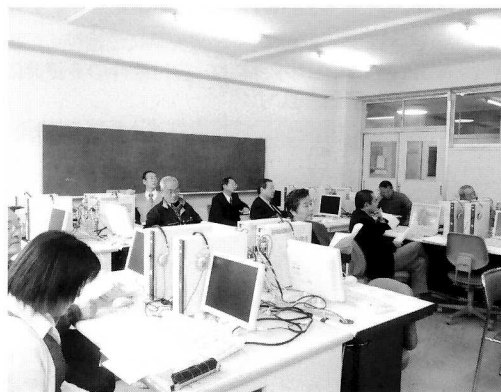
▲講師の高松大学経営学部澤登准教授

12月15日、本会は、高松大学において、農商工連携等人材育成事業第8回セミナーを開催し、県下の中小企業経営者並びに漁業経営者17名が出席しました。

今回のセミナーには、高松大学経営学部准教授澤登千恵氏を講師としてお迎えし、「漁業、水産業経営（会計実務）」をテーマに講義して頂きました。

講義では、高松大学の学生2人にも参加してもらい、漁業経営に係る取引を会計の面からドラマ仕立てに講義を進め、複式簿記の一連の手続きである仕訳、転記、決算書作成、財務分析、利益分析について、わかりやすく説明して頂きました。

その後、受講者は実際に会計ソフトを使って、仕訳作業を行った後、入力し、貸借対照表と損益計算書を作成して講義を終了しました。



▲セミナーの様子

「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための 臨時措置に関する法律」が施行されました

中小企業金融円滑化法の概要

中小企業金融円滑化法により、金融機関は、中小企業や住宅ローンの借り手の申込みに対し、できる限り、条件変更等を行うよう努めます。

また、金融機関は、他の金融機関・政府関係金融機関・信用保証協会等とも連携し、条件変更等を行うよう努めます。

金融円滑化Q&A

**Q. 「中小企業金融円滑化法」によって、金融機関からの借入れについて、
「貸付条件の変更等」を受けられると聞きましたが、どのようにすればよいのですか？**

A. まずは、ご利用の金融機関にご相談ください。金融機関と今後の経営改善計画、返済計画を検討した上で、その実現に必要な貸付条件の変更等を行うこととなります。また、経営改善計画がなくても、1年以内に計画を策定できると見込まれれば、先に貸付条件の変更等を行った上で、金融機関と一緒に計画の検討を行うこともできます。

Q. 「貸付条件の変更等」とは、元本の返済猶予を意味するのですか？

A. それだけではなくありません。元本の猶予以外にも、例えば、返済期間の延長や、旧債の借換え、デット・エクイティ・スワップ（債務の株式化）など、債務の弁済負担の軽減を行うすべての措置が含まれます。ご利用の金融機関にご相談ください。

**Q. 金融機関に「貸付条件の変更等」を申し込きましたが、応じてもらえませんでした。
もうあきらめるしかないのでしょうか？**

A. あきらめる必要はありません。他の取引金融機関や、信用保証協会等に相談してみましょ。中小企業金融円滑化法は、各金融機関が、他の金融機関や信用保証協会、政府関係金融機関等との連携を図るよう求めています。

Q. 「貸付条件の変更等」を受けたことを理由に、今後、新規融資を断られることはありませんか？

A. そのようなことはありません。個別の融資は各金融機関が借り手の信用力等を踏まえて判断しますが、金融庁も、貸付条件の変更等の履歴があることのみを理由に新規融資を拒絶することがないよう、金融機関に対する検査・監督で検証していきます。

Q. 政府関係金融機関等にも「貸付条件の変更等」を申し込むことができますか？

A. お申し込みできます。政府関係金融機関や信用保証協会に対しては、従来から貸付条件の変更等に柔軟に対応するよう監督官庁が要請を行っています。また、セーフティネット貸付や緊急保証制度など、新規融資につながる制度も使えます。

Q. 困ったら、どこに相談すればよいのですか？

- A.** ①まずは、ご利用の金融機関営業店にご相談ください。
②また、各金融機関本部には「貸付条件の変更等に係る苦情相談窓口」が設置されますので、営業店の対応がご不満の場合等にご利用ください。
③さらに、各金融関係団体が設置する苦情相談窓口、金融庁の情報受付窓口もご活用ください。

お問い合わせ先

- 中小企業庁金融課 03-3501-6280
- 四国経済産業局 087-811-8529
- 香川県信用保証協会 087-851-0061

商工中金だより

経済危機対策「ものづくり中小企業向け支援策」と連携した
商工中金のつなぎ融資制度をご案内いたします！

【ものづくり中小企業支援・つなぎ融資制度】

貸付対象者	ものづくり中小企業製品開発等支援事業、戦略的基盤技術高度化支援事業の採択を受けられた方
貸付限度	補助金、委託費の決定額の範囲内
資金用途	①ものづくり中小企業製品開発等支援事業における補助金交付までに必要となるつなぎ資金 ②戦略的基盤技術高度化支援事業における研究開発委託金交付までに必要となるつなぎ資金
貸付形式	手形貸付
貸付期間	補助金、委託費交付予定日までの期間
貸付利率	短期プライムレート以上
その他	○委託費・補助金の入金口座を当金庫に開設・指定いただく必要があります。 ○融資に際しては、当金庫の審査が必要となります。審査の結果によってはご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。

○その他、当該事業の量産化等の場合に必要となる設備資金や運転資金など長期資金については、ものづくり基盤技術高度化支援貸付で対応いたしますので、ご相談ください。

【お問い合わせ先】
株式会社 商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 中小企業事業からのお知らせ ●

【貸付制度のお知らせ】

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金	6億円	特別利率 ^③ <small>ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%</small>	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^{①②③} (③-0.4)	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^{①③}	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^{①②③} <small>特設工本利率 特設工本利率</small>	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^{①③}	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	社会環境対応施設 整備資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^②	2億7千万円	設備 15年
企業活力強化資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^{①③}	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	2億5千万円	基準利率	—	設備 15年	企業再建・事業承継 支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率 ^①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年

注) 同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

● 国民生活事業からのご案内 ●

取引企業などの倒産により影響を受けているみなさまへ

取引企業倒産対応資金のご案内

ご利用いただける方	ご融資額	ご返済期間
1 倒産した企業に対して50万円以上の売掛金債権などを有する方 2 倒産した企業にタイする取引依存度が10%以上である方 3 倒産した企業に対して貸付金や差入保証金など債権を有する方 4 倒産した企業の債務を保証している方 5 倒産した企業の設置する商業施設に入居している方であって、倒産の影響を受けている方、または影響を受けるおそれのある方 6 倒産した企業から受注した商品や役務などが、倒産の影響により取り消された方	別枠 3,000万 以内	運転8年以内

※金利は金融情勢によって変動いたしますので、支店までお問い合わせください。
 ※ご返済期間等によって異なる金利が適用されます。
 ※担保や保証人については、お客さまのご要望に弾力的に対応します。
 ※ご相談の結果、お客さまのご要望に沿えないことがあります。

<p>株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2・3階 URL:http://www.jfc.go.jp/</p> <p>中小企業事業(旧 中小企業金融公庫) 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階 TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423</p>	<p>国民生活事業 融資相談係(旧 国民生活金融公庫) 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階 TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274</p>
---	--

組合企業訪問 頑張ってます

有限会社 大河食品店

■ 所属組合 高松青果物商業協同組合

■ 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役 大河 香一

代表取締役 大河香一
創業 昭和31年
資本金 300万円
従業員数 2名
住所 香川県高松市桜町1-8-6
TEL 087-831-8696
FAX 087-831-8715
事業内容 野菜・果実の販売

沿革

昭和31年 高松市桜町にて個人商店として創業
昭和48年 有限会社大河食品店に改組
平成15年 市内2カ所にて青空市場を開始



▲青空市場（桜町保健所北隣）

ピンチをチャンスに ～「青空市場」～

大河食品店は現社長の父親が昭和31年創業、その後法人化し現社長が中心となり店舗での小売並びに病院、給食、結婚式場等への食材の納入により順調に業績を伸ばしていましたが、平成15年に大河氏が病に倒れるというアクシデントに見舞われます。病気は回復したものの病院や給食等への食材納入、業界でいう「納め」は売上げの増加には欠かせないものの、食材加工が深夜に及ぶこともあり、早朝の市場での競りから始まる長時間の業務を行うことは不可能でした。

そこで大河氏は従来の店舗型営業の変更を決意、露天での販売を行う「青空市場」を開始しました。毎週月・水・金は桜町保健所北隣で、火・木・土は瓦町天満屋裏で午前10時より午後3時までの短時間営業、対話を重視した販売方法は新鮮な野菜や果実を求める主婦を中心に好評です。「消費者との会話こそが、大型量販店にはない小売店の強み。『青空市場』の



▲青空市場（高松天満屋）

ような販売形式は大型店との差別化をはかり、我々小売店が生き残るひとつの方法」と大河社長は語ります。

地元の安全な食材をお客様に

最近における消費生活の状況は、複雑多岐を極めており、物価や燃料費の高騰により食品の価格の変動を呼び起こしています。また、食品の偽装が問題となり、それに伴って、食品の安全・正確な情報がより一層求められています。

県内でも昨年11月に高松市で学校給食に使用された冷凍ブロッコリーに虫ピンが混入する事故以後、安価な外国産を避け地元食材を使用する「地産地消」傾向が強まり、学校給食における県内産食材のシェアは高まってきています。

大河社長は高松青果物商業協同組合の理事長として約4万食におよぶ市内の学校給食用の素材をチェック、子どもたちに安全ないいものを食べさせるため、できる限り県内食材を確保するよう努めています。



▲店頭には旬な野菜が並ぶ

ですが最近は、『旬』を知らない母親や栄養士さんが多くなっています。

大河社長は理事長を務める組合のホームページを昨年10月に開設、市場での野菜の売れ筋やプロによる知識、旬の野菜の情報やおいしい野菜を見分けるコツなどを伝授する「野菜の知識」、旬の野菜を使ったおいしい料理のレシピを紹介した「旬の素材レシピ」といった情報を発信しています。

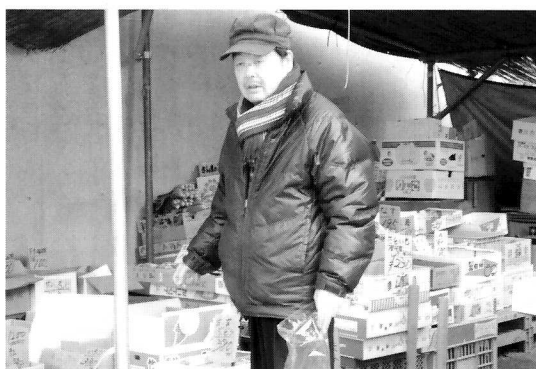
URL//<http://t0831.net>

今後の抱負

私たち小売の青果店を取り巻く環境は、大型量販店などにおされてとても厳しい現状です。

しかし、その中でも小店舗ならではの小回りの利いた経営、地元に着した工夫やサービス、独自カラーの品揃えなど、それぞれの特色ある経営で奮闘しています。

消費者の皆様も正しい知識、正しい目をもって、安全で確かな食品をご購入ください。それが結局は、市場の正常化・物流の円滑化・食品の正しい価格設定・食の安全に繋がり、現状の市場を大きく転換してける力と成り得ると確信しています。



▲店頭にて大河社長

「野菜のプロ」として

今、スーパーなどの果物コーナーに行くと、多種多様な野菜や果物が並んでいます。年中出回ることが多かった野菜や果物もありますが、やはり『旬』のものを食べるのが一番おいしく、栄養価も高いの



▲組合HP

1日	中小企業危機克服・地域活性化香川県集会 農商工連携等人材育成事業・第7回セミナー	(高松国際ホテル) (ホテルパールガーデン)
2日	四国ブロック組織化支援指導員研究会 四国地域国内クレジット展開ネットワーク構築会議	(愛媛県) (アイホール)
	地域商店街活性化法に基づく市町村向け高度化事業等説明会	(高松サンポート合同庁舎)
3日	さぬきうどん振興協議会会議	(本会)
4日	組合青年部全国講習会 全国中央会地域活性化戦略マニュアル策定事業委員会実地調査	(佐賀県) (長崎県)
	ものづくり分野人材育成・確保事業研修会	(ホテルパールガーデン)
6日	中小企業組合検定試験	(マリンパレスさぬき)
9日	情報連絡員合同会議 香川県火災共済協同組合年末懇談会	(ホテルパールガーデン) (わたや)
10日	全国中央会地域活性化戦略マニュアル策定事業委員会実地調査 テーマ別情報提供研修	(日本手袋工業組合) (東京都)
11日	特定非営利活動法人香川県就労支援事業者機構設立総会 香川県障害者就労支援ネットワーク会議	(高松保護観察所) (高松サンポート合同庁舎)
12日	ものづくり人材育成研修会	(ホテルパールガーデン)
14日	香川県北方領土返還促進協議会理事会	(マリンパレスさぬき)
15日	農商工連携等人材育成事業・第8回セミナー 香川県地域訓練協議会	(高松大学) (香川センター)
	中小企業金融円滑化法総合パッケージ地方説明会	(高松商工会議所)
16日	地域活性化組合戦略マニュアル作成委員会 地域融資動向に関する情報交換会	(東京都) (四国財務局)
	地域密着型金融事例等発表会	(四国財務局)
17日	官公需業種別受注対策事業地区別指導会議 地域連携拠点全体会議	(徳島県) (香川産業頭脳化センタービル)
	地域資源活用セミナー	(ホテルセントカテリーナ宇多津)
18日	経済団体への雇用の維持と求人確保等に関する緊急要請	(本会)
19日	ものづくり人材育成研修会	(ホテルニューフロンティア)
21日	農商工連携等人材育成事業中間監査 ものづくり人材育成研修会	(本会) (香川大学工学部)
24日	穴吹工務店会社更生手続問題連絡会 下請ガイドライン説明会	(香川県庁) (わしよく家二蝶)
25日	高松市子育て支援中小企業表彰選考委員会	(高松市役所)

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	バンド1本でやせる! 巻くだけダイエット	山本 千尋	幻冬舎/1,575円
2	体温を上げると健康になる	齋藤 真嗣	サンマーク出版/1,470円
3	日本辺境論	内田 樹	新潮社/777円
4	親鸞(上)(下)	五木 寛之	講談社/各1,575円
5	細川ふみえ Fumming	篠山 紀信	講談社/4,095円